



ふじあさみ

発行
国土交通省中部地方整備局
富士砂防工事事務所
富士宮市三園平1100
電話0544(27)5221
<http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>



本栖湖より仰ぎ見る富士山

神秘の湖・本栖湖

■本栖湖のおいたち

本栖湖は遙か昔、精進湖、西湖と一つの湖で、刻の海(せのうみ)と呼ばれていました。富士山の噴火によって今のように3つの湖に分断されたといわれています。その証拠にこの3つの湖は水位が常に同じで、地下でつながっているのではないかと推測されています。

■大自然に彩られた美しい湖畔

本栖湖は水深138mで富士五湖の中では一番、全国の湖でも屈指の深さです。瑠璃色にきらめく湖水の美しさも素晴らしく、透明度も抜群。四季折々の自然と、富士の眺めも見事です。5千円札裏面の富士山は本栖湖の北岸からのもの。その絵のような澄んだ湖面に映る逆さ富士は、冬の早朝によく見られます。また、龍が天に昇

るという伝説のある竜ヶ岳が湖畔に接してそびえ、神秘的な雰囲気を感じさせます。初秋のフジアザミに彩られた湖畔の道も、本栖湖ならではの情景です。

■レジャーのメッカ・本栖湖

淡水では珍しいスキューバダイビングのポイントとしても最近では知られています。水中では太古の大噴火によるクレーターや、沈んだ巨木などが見られます。湖面でのレイクスportsも盛んで、ウインドサーフィン、カヌー、釣りのほか、湖畔でのキャンプやサイクリングも設備が完備されています。本栖湖は富士山をバックにアウトドアスポーツを楽しめるとおきのステージでもあります。

■日本屈指の透明度

富士五湖の中で、いちばん西に位置する本栖湖ですが、この湖を訪れると、まず驚かされるのが湖水の美しさです。瑠璃色の神秘的な

色合いは世界的にも珍しいと言われています。透明度では世界でも評価される、北海道の摩周湖をはじめ、本栖湖などのきれいな藍色をした湖面の色は水中に土砂やプランクトンが少ないためと考えられます。日本には250以上の湖沼がありますが、本栖湖は透明度と深度でベスト10に入っています。

透明度の高い湖沼			
順位	湖 沼 名	透明度(m)	湖沼の種類
1	摩 周 湖(北海道)	25.5	カルデラ湖
2	然 別 湖(北海道)	19.5	堰 止 湖
3	倶 多 楽 湖(北海道)	19.0	カルデラ湖
4	支 笏 湖(北海道)	18.0	カルデラ湖
5	赤 沼(北海道)	16.5	堰 止 湖
6	パンケトウ(北海道)	15.9	堰 止 湖
7	中 禅 寺 湖(栃木県)	13.5	堰 止 湖
8	洞 爺 湖(北海道)	13.0	カルデラ湖
9	本 栖 湖(山梨県)	12.7	堰 止 湖
10	十 和 田 湖(青森県)	12.5	カルデラ湖

環境庁/1989年調査によるデータ

富士山の過去・現在・未来を知ろう。

富士山の基礎知識

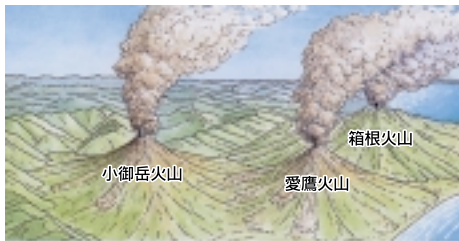
富士山麓に暮らし、富士山とともに生きる私たちにとって、火山防災は日々の危機意識が最も重要です。しかし、相手をよく知らなければ対策を立てることもままなりません。そこで富士山を知るための基礎知識をご紹介します。

富士山の過去

■小御岳火山の時代

今から約70～20万年前に、現在の富士山よりやや北側に小御岳火山と呼ばれる火山が誕生しました。その山体の一部は、富士吉田登山口5合目の小御岳神社付近で今も見ることができます。

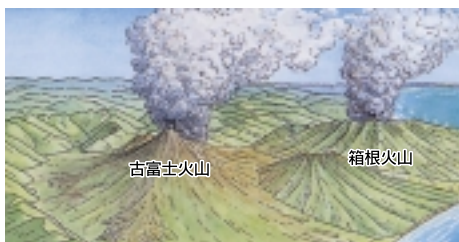
現在の箱根山や愛鷹山にあたる山が噴火していたころ、現在の富士山の近くで噴火活動していた小御岳が高さ2,400mくらいまで成長し、これが最初の富士山となりました。



■古富士火山の時代

約10万年前になると、小御岳火山の中腹で古富士火山が噴火を開始しました。古富士火山は爆発的な噴火を繰り返し、少なくとも5回の山体崩壊を発生させました。

小御岳の南側で噴火がおこり、古富士という2番目の富士山が現れました。古富士は2,700mにもなり、小御岳を覆ってしまいました。



■新富士火山の時代

約1万年前になると、古富士火山を覆うようにして新富士火山が成長を開始、ねばりけの小さい玄武岩質の溶岩を流し、三島市や大月市付近まで到達するような多量の溶岩を流出させました。

古富士が火山活動を始め、大量の溶岩と火山灰が古富士の上に積もり、大きな山ができました。これが新富士で5,000年くらい前に高さ3,776mのほぼ現在の姿になりました。



富士山の名前の由来

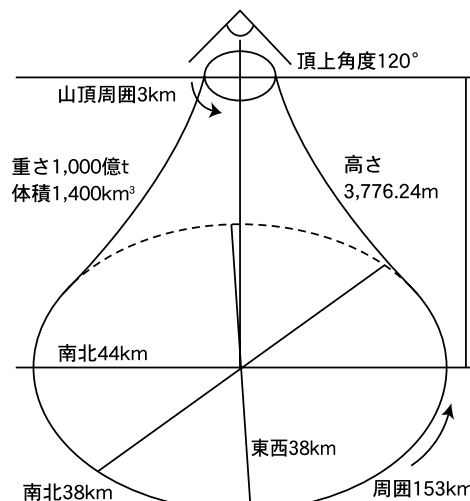
「フジ」という発音が文献に登場するのは万葉集のころですが、不尽・布士・不二など、様々な字があてられ、確定的な文字はなかったようです。はじめて「富士」の文字が登場するのは797年頃に編まれた『続日本紀』で、天応元年の小噴火についてふれています。

「フジ」にはどんな意味があるのでしょうか。確定的なものはありませんが、いくつかの説があります。まず、竹取物語の一節で、帝の使者があまた(富)のつわもの(士)を率いて登ったことからこの名が付いたという説。もうひとつ竹取物語の説では、かぐや姫が天に帰る日、帝の使者が山頂で帝に残された手紙と不死(フジ)の薬を焼いたから、という説。そしてアイヌ語のフチ(火)、フンチ(火山)がフジに転じたという説などがあります。

富士山の高さ・大きさ

富士山の高さは一般に3,776mとされていますが、剣が峰の最高点の標高は平成3年の測量成果(国土地理院)によると3,776.24mです。

山体の大きさ、裾野の広さはどのくらいでしょう。山体の体積は約1,400km³と見積もられています。また、裾野の広さは南北に約44km、東西に約38kmの楕円形をしています。その周囲は約153km、面積は約1,200km²もあります。山頂の周囲は3kmで、富士山全体の重さはおよそ1,000億トンと推定されています。



火山の構造と種類

火山は、地下にあるマグマが地上に吹き出し、それが重なってできたものです。マグマの温度は1,000℃以上の高温で、地下数十kmより深いところで作られていると考えられています。火山は噴出のしかたや流れ出した溶岩の性質で、いろいろな形になります。

富士山は成層火山

富士山は成層火山(コニーデ)という種類に分類されます。これは、溶岩や火山灰など、火山からの噴出物が火口を中心に積み重なってできたものです。

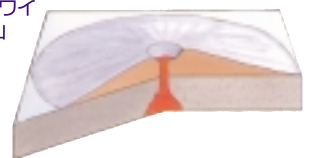


■成層火山(コニーデ)

このほかに、ねばりけの少ない溶岩が噴出して、楯をふせたようなゆったりとした形になる「たて状火山(アスピーテ)」、ねばりけの強い溶岩が噴出し、遠くへ流れずに火口付近にまんじゅう状にもり上がってできる「溶岩円頂丘(トロイデ)」、火口が広い特徴を持つ、噴火したあと山頂が落ち込んでいる「カルデラ」などがあります。

■たて状火山(アスピーテ)

代表的な山: ハワイ
キラウエア火山



■溶岩円頂丘(トロイデ)

代表的な山: 北海道 昭和新山



■カルデラ

代表的な山: 阿蘇山



富士山に暮らす

気ままな神、富士山が怒って人々の生命や財産を奪い取ってしまう。そんなことのないように山麓の人々は信仰をつくりだし、富士山そのものを御神体とした浅間神社や、さまざまな祭りが生まれました。地域だけでなく、全国に広まった浅間神社と信仰について探ってみましょう。

浅間神社

■浅間神社の起源

「せんげんさん」の愛称で地域の人々に親しまれている浅間神社。そもそも浅間神社は、富士山そのものを御神体とした信仰に始まったもので、その典型を富士宮の山宮浅間神社に見ることができます。社伝によると、大同元年（806年）に坂上田村麻呂によって現在の浅間神社に遷宮され、以後、小高い丘の上から富士山を遥拝する信仰が生まれてきました。

■「あさま」と「せんげん」

「浅間」は現在「せんげん」と読んでいますが、古くは「あさま」と読んでいたようです。「あさま」の呼び名の起源は色々な説があり、伊勢の朝熊（あさくま）社が元とするもの、あるいは早朝に富士宮の湧玉池の水面から霧が立ちのぼる様を朝雲と名付けたのが転じたとするものなどがあります。「あさま」の意味として

有力なのが、マライ語のアサ（煙）からきているという説で、浅間山、阿蘇山など、煙を噴く山にあてはまります。「せんげん」は、単に浅間を音読したものにすぎないようです。

■神仏習合による浅間信仰

霊験あらたかな神として国中の人々が讃え、各地に浅間神社が建てられました。他社との合併などで浅間神社という名がはずされた神社も含めると、その数は1,900社に近いとも言われています。浅間神社の発展で忘れてならないのが修験道との結びつきです。神道と仏教の習合思想も発達していきました。村山浅間神社には、浅間神社と大日堂、つまり神と仏が並んでまつられています。神を信ずる一方で死をおそれ、仏にすがる日本人の性格にうまく溶け込んだと考えることもできます。

■浅間神社と祭り

富士山の尽きることのない慈愛を受け継ぐ岳麓の神事もさまざまです。浅間神社の伝統の祭りの代表に、富士宮市の「富士山本宮浅間大社流鏑馬（やぶさめ）祭」があります。社伝によ

ると、建久4年（1193年）5月、源頼朝が富士裾野で巻狩りを行った時、武将たちを率いて浅間大社に詣で、流鏑馬を奉納したことに始まるとされています。5月5日の本祭には、数々の神事のあと、槍武者、弓武者、鎧武者、神馬、神職、そして5人の射手たちが流鏑馬入りと称して町内を練り歩き、間行事が進んだあと本乗りに移り、5人の射手が150メートルの馬場を東から西に走り抜けながら、2つの的を次々と当てていきます。



▲流鏑馬（富士宮市）

富士山に寄せる想い

災害ボランティアコーディネーター富士連絡会 渡邊 敏正 氏 の肝要さを、この時痛切に感じました。

■私と災害のかかわり

災害には、地震、噴火、津波、洪水、山崩れ、土石流等々、自然災害、人的災害があります。私自身が体験した災害をいくつか紹介します。

まず、昭和20年のB29の静岡市空爆です。全市に焼夷弾が雨霞のごとく投下され、当時若干12歳だった私は仲間とともに焼死体や重傷者を見ながら、焼け跡のかたづけなど、今で言うボランティア活動をしました。

次に、昭和32年、愛知県の三河湾で、高潮災害による海岸堤防決壊の災害復旧を完了し、老漁民夫婦に涙を流してお礼を言われたことは忘れられません。

次に狩野川台風です。川の中心は堤防より1m位高い水位で水面を矢のごとく家屋が流れ、屋根の上から助けを求める叫びを聞き、何もできない自分がはじめに思えてなりません。その後、狩野川放水路完成と災害復旧に昼夜を忘れ没頭したものです。

次は昭和40年、天竜川の支流、小渋川の上流、長野県大鹿村の局地的豪雨による山崩れです。部落の壊滅による治水、利水のダム建設に携わり、無事ダムを完成させました。

昭和59年、長野県西部地震による大滝村の地滑り災害では、災害復旧に緊急仮橋の災害救援に、資材、図面、取扱い方法を手配しました。災害復旧に必要な要素を、いつ、どんな時でも使用できるように整備しておくことの大切さ、災害対策に必要な資機材を十分把握すること

の肝要さを、この時痛切に感じました。最後に、昨年の吉原海岸での水難事故ですが、ついに発見できなかったことが心残りでした。同級生と思われる子供が船の上から花束を投下しながら叫んだお別れの言葉は、狩野川台風の時に助けを求めた叫びとダブって非常に悲しくなりました。

■郷土の山 富士山

火山の一生は数万年～数千万年と言われています。人間は長くて100年です。火山の一生にくらべて人間は瞬時の命です。富士山のふもと、毎日仰ぎ見る郷土の山、富士山が誕生しなければ、私達の町富士市、富士宮市は存在しなかったでしょう。富士山は大きな恵みを私達に与えてくれていると共に、噴火・雪代・土石流災害など、昔から恐れられています。だからこそ、富士山の歴史と文化を知り、私達が富士山とともに安心して暮らせるように富士山に学び、富士山をもっと知り、防災に役立てる必要があると思います。国土交通省富士砂防工事事務所で作成された『富士火山防災ハンドブック』は、富士山を火山という側面から知るためには、非常に有効な資料となっていますので、防災活動の資料としてご活用くだされば幸いです。

■災害ボランティアコーディネーターについて

防災直後には自分自身、家族や地域の助け合いでその後の被災地の外からの支援が必要となり、駆け付ける大勢のボランティアの力を活かすには、受け入れ側である被災地側の

体制づくりが不可欠です。災害ボランティアコーディネーターは災害時のボランティア活動を、混乱した状況の中でも迅速かつきめ細やかな、そして効果的なものとするために必要となるのです。行政は平等を旨として指示命令をし、対策を立てると思いますが、私達ボランティアは、支持、ささえを持つ気持ちで災害時のニーズに応じていく黒衣でありたいと考えます。

防災は人命が第一です。命があってこそ財産が守れるのです。まず我が身を守り、家族を守り、そして、それが地域を守ることにつながります。防災情報を地図などに書き込むことも防災の手段のひとつです。例えば、道路、河川、避難場所、町丁目、地番、標高、集積所、消防・救助施設、医療・福祉施設、被災箇所、規制箇所など、情報を書き込むことで、いざと言う時に活用できます。東海地震や富士山の噴火時には、広範囲の被害が想定されます。ですから、阪神淡路大震災の時のような、全国からのボランティアは望めないかもしれません。だからこそ、富士ボランティア連絡会会員、そして地域の自主防災委員と住民ひとりひとりが、この重大な処理に当たらなければならないのです。

（「富士市災害ボランティア連絡会」での講話の内容を編集したものです。）

■渡邊 敏正氏 プロフィール

昭和7年、静岡市生まれ。昭和26年、建設省に入省。昭和62年（社）中部建設協会を経て、平成8年災害ボランティアコーディネーターとなる。平成10年新日本設計（株）、（株）建設システム、現在に至る。

地域の ニュース

「富士山ハザードマップ検討委員会」が開催されました

富士山は国内の他の火山に比べ山体が大きく、広域的な防災対策が必要であるほか、次期噴火形態の想定などに技術的課題が多くあることなどから、地元自治体と国が富士山ハザードマップ作成協議会を設立し、学識者からなるハザードマップ検討委員会に諮問しています。

●開催日 4月17日(水)/4月24日(水)/5月22日(水)

★富士山火山ハザードマップ検討委員会の活動状況は内閣府のホームページでご覧になれます。

<http://www.bousai.go.jp/fujisan/>

富士市災害ボランティア連絡会 平成14年度総会 行われました

去る平成14年5月17日(金)、「富士市災害ボランティア連絡会平成14年度総会」が、富士市災害ボランティア連絡会の会員9団体や市役所関連部課、富士市社会福祉協議会などの参加により開催されました。総会後の講話では、災害ボランティアコーディネーター富士連絡会の渡邊敏正氏をお迎えし、ご自身と災害とのかかわりや活動内容、東海地震第3次被害想定と防災Q&Aなどについてお話しされました。さらに富士山のおいたちとして、小御岳・古富士・新富士火山の時代についての興味深いお話などを聞くことができました。

今年度も多くの生徒さんによって リサイクルポット植樹を行いました

遊砂地の内部や溪流保全工の周囲に砂防樹林帯を造成するため、小中学校生の皆さんに、コナラ、クヌギなどの広葉樹の苗木をリサイクルポットに仮植しました。保育後、下記のスケジュールで植樹を行う予定です。

学 校 名	山宮小	宮四中	西富士中	西 小	白糸小	上井出小	井之頭小	井之頭中
植 樹 日	6月12日(水)	6月27日(木)	7月2日(火)	7月10日(水)	7月5日(金)	7月4日(木)	7月9日(火)	7月4日(木)
植樹場所	風祭川	猪窪川	猪窪川	扇状地	猪窪川	足取川	扇状地	扇状地

お知らせ

第3回 中部の未来創造大賞 活動内容募集

これからの地域づくりは、社会資本を整備するだけでなく、その利用や環境保全を含め総合的に考えることが不可欠です。そのために、地域住民と産業界、行政等が相互に連携することが必要です。「中部の未来創造大賞」は、民間・行政の垣根を超えた幅広い分野で取り組まれている皆様の活動を4つの部門で募集・選考し、これを広く紹介することで、新しい中部の「地域づくり」に役立てていくことを目的としています。

■応募：応募用紙に必要事項を記入の上、下記提出先まで送付して下さい。応募用紙は下記問い合わせ先、または中部地方整備局ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/mirai/index.htm> にてお取り寄せ下さい。

■お問合せ：中部の未来創造大賞推進協議会事務局

●中部地方整備局 技術管理課 TEL.052-953-8131

●(社)中部建設教会 企画部 TEL.052-962-2227

中部地方整備局「いきいきモニター」募集

- 目的：中部地方整備局と管内住民との情報の共有、対話を目的とし、定期的にアンケートにお答えいただいたり、モニター会議に参加していただき、ご意見、ご提案を行政に活かします。
- 募集期間：平成14年6月28日(金)まで
- 申込方法：「モニター応募用紙」を例に所定の事項を記載し、ハガキ、Eメール、ファックスのいずれかでお申し込みください。お申し込み、応募用紙のご請求、その他お問合せは下記まで。

国土交通省 中部地方整備局

企画部 企画課「いきいきモニター」応募係

〒460-8514名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎2号館

TEL.052-953-8127 FAX.052-953-8294

E-mail kikaku@cbr.mlit.go.jp

5月30日から建設リサイクル(分別解体と再資源化)が義務化されました

①コンクリート ②アスファルト・コンクリート ③木材のいずれかをを用いた建築物などの解体工事、これらを使用する新築工事などで、基準に従って分別(分別解体)し、再資源化することが義務付けられます。

●法律の条文など詳しい内容については、国土交通省HP(総合政策関係、建設業、リサイクルホームページ)をご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/refrm.htm>

●この法律に関する問い合わせは、下記までお願いします。
国土交通省総合政策局 建設業課 または 事務総括調整室

TEL.03-5253-8111(代)

夏休み 大沢扇状地自然観察会 参加募集

- 実施日：平成14年8月7日(水)
- 対象：小学生～一般(小学生は父兄同伴)
- 参加費：500円(交通費及び保険料)
- 定員：約150名
- 申込方法：往復ハガキかEメールにて住所・電話番号・希望日(複数可)・氏名・年齢(ご家族・グループの場合は全員と代表者)を記入して、富士砂防工事事務所へお送りください。参加案内を返送します。
Eメール info@fujisabo.go.jp

大沢崩れと御中道見学会 参加募集

- 定員：35名
- 対象：原則として県内在住の方
- 実施日：平成14年7月16日(火)(国土交通の日)
- 申込締切日：平成14年7月2日(火)
- 集合場所：富士宮市浅間大社 正面大鳥居(8:20)
- 参加費：1,000円(交通費及び保険料)
- 申込方法：往復ハガキかEメールにて住所・電話番号・希望日(複数可)・氏名・年齢(ご家族・グループの場合は全員と代表者)を記入して、富士砂防工事事務所へお送りください。参加案内を返送します。
Eメール info@fujisabo.go.jp

※見学希望者が多い場合は抽選とします。

第7回 富士山への手紙・絵 コンクール 作品募集

■手紙部門

応募資格：小学生以上の方ならどなたでも応募できます。

作品規格：一人1点(未発表のもの)、ハガキ400字以内

■絵部門

応募資格：どなたでも応募できます。

作品規格：一人1点、未発表のオリジナル作品に限ります。画材や表現方法に制限はありませんが、クレヨンなど他の作品を汚すおそれのある画材はご遠慮ください。用紙は四つ切を使用してください。

募集要項

審査委員長：村松友視(作家)

応募期間：平成14年7月1日(月)

～9月16日(月)(当日消印有効)

応募先：〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地
富士宮市教育委員会 学校教育課
富士山への手紙・絵コンクール事務局

応募方法：詳しくは6月中旬に主催者が配付する「応募要項」をご覧ください。

主催：富士宮市・富士宮市教育委員会

●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

富士山に関する古い写真・資料等をお持ちの方、また災害体験をされた方の情報提供をお願いいたします。

<連絡先>

富士砂防工事事務所

担当/建設専門官・鈴木、または調査課長・小泉まで

TEL.0544-27-5221

<お問い合わせ先>

■国土交通省富士砂防工事事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100

TEL.0544-27-5221

インターネット <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>

■富士宮砂防出張所

〒418-0103 静岡県富士宮市上井出826-1

TEL.0544-54-0236

